
誰でもはじめは初体験！

豆腐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誰でもはじめは初体験！

【Nコード】

N9584F

【作者名】

豆腐

【あらすじ】

ファンタジーなコメディの予定。よくわからんメンバーでまったり冒険します。

第二章：クリックではじまる冒険

翌日。

龍輔の頭からはまだあの書き込みのことが頭に残っており授業もあまり頭に入らなかった。

（なんだったんだろ、アレ。）

龍輔は不思議な感覚にとらわれていた。何より不思議に感じるのがあの書き込みをここまで気にしている自分の気持ちである。

「・・・なぜここまで気になるのが気になる、という矛盾かあ・・・」

考え込んでいる龍輔に一人の少年が話しかけてきた。

「どつたのー？龍？」

話しかけてきたのは龍輔の友人の早川であつた。

「あ、ああ・・・」

「なんか元氣ないみたいだけど」

「少しな・・・あ、そうだ」

ふと思つた。早川も同じ掲示板のユーザである。あの書き込みについて話し合つてみたかどうか、と。

「？」

「早川、お前昨日あのサイトを見たか？」

「A THEORY OF RACE CAKE!だよ」

「餅の論？ああ・・・分かりにくい・・・」

「それであのサイトがどうしたのかな？」

龍輔が少し顔をよせて話す。

「昨日変な書き込みがなかったか？世界がどうこうとか・・・」
「ん？」

変なことを聞いたからといって軽蔑するようなヤツではないが・・・あんな書き込みを真に受けてることを笑われそうで少し恥ずかしくなつてきた。

しかし早川が返した答えは予想外のものであった。

「龍輔、何の事を言ってるの？ 昨日の書き込みにはそういうのはなかったけど・・・」

それとも世界ってヤンデレの・・・」

！？

まさか・・・やはりオレ以外にあの書き込みを見たやつはいない・・・？

「そうか、変なことを言ってますまない。他に早川以外にあの掲示板使ってるヤツっていたっけ？」

「他にも何人か。その龍が言う変な書き込みがなかったか聞いてみようか？」

早川だけでは確実性に欠ける。見間違いということもありうるので「ああ、頼む。ありがとう早川」
協力を頼んでみる。

放課後になり、早川に聞いてみたところ、

「だれもそういう目立った書き込みを見ていない」らしかった。

（おかしい。俺が違うページを間違えて読み込んでしまったということなのか？ しかしその他の話題は早川の話しているのと同じだった。どういうことだ・・・？）

気になった龍輔は家に帰り、ためしにアクセスしてみることにした・・・が、

URLを入力したところで迷っていた。

（踏ん切りがつかねえ・・・ワンクリック詐欺とかだったらちよつとガツカリだな・・・さて行くべきかどうか・・・）

「なにをしてるんだ？ 我が弟よ」

いきなり話しかけてきた姉の恵の声に驚き

「うわぁ！」

カチッ。

「あー！ なにしてんだよ恵！」

「何ってなんだか落ち着きのなかった弟君を励ましにきただけなのだが・・・」

ところでパソコンのモニターの光がすごいのだが緩めてくれないか？」

みるとパソコンのモニターからすさまじい光が溢れ出していた。

「へ？光？」

そうして二人は光に飲み込まれていった。

第二章：クリックではじまる冒険（後書き）

第二話なんですけど投稿方法あってるかな・・・
感想よろしくおねがいします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9584f/>

誰でもはじめは初体験！

2010年10月9日07時41分発行